

= 目 次 =

1. 重大事故情報 = 9件(9月13日~9月22日分)

- (1) 貸切バスが駐車車両に衝突した事故
- (2) 無人の貸切バスが運転者を轢いた事故
- (3) 乗合バスが左後輪で歩行者を巻き込んだ事故
- (4) タクシーが軽乗用車と衝突した事故
- (5) タクシー運転者が健康起因により死亡
- (6) トラック運転者の酒気帯び運転による追突事故1
- (7) トラック運転者の酒気帯び運転による転落事故
- (8) トラック運転者の酒気帯び運転による追突事故2
- (9) 大型トラックと乗用車が衝突した事故

【1. 重大事故情報 = 9件】(9月13日~9月22日分)

(1) 貸切バスが駐車車両に衝突した事故

9月18日午前10時10分頃、栃木県において、貸切バスが乗客20名を乗せて運行中、上り坂の左カーブに差し掛かったところでハンドル操作を誤り、道路右側の駐車場に突入し、停めてあった6台の車両に衝突した。

この事故により、駐車場にいた3名が車両に挟まれ重傷、バスの乗客4名が打撲などの軽傷を負った。

なお、当該バスは駐車車両に衝突した際、タイヤがパンクした模様。

(2) 無人の貸切バスが運転者を轢いた事故

9月18日午後0時30分頃、群馬県において、貸切バスの運転者が目的地に到着して乗客を降ろした後、貸切バスの後方で乗客の荷物を降ろしていたところ、当該貸切バスが無人で動き出したため轢かれた。

この事故により、当該貸切バスの運転者が頭を強く打ち、間もなく死亡した。

なお、当該貸切バスは20m先の電柱に衝突して止まった。

事故当時、当該貸切バスのエンジンはかかっていなかった模様。

(3) 乗合バスが左後輪で歩行者を巻き込んだ事故

9月22日午後2時45分頃、千葉県の片道1車線の道路において、乗合バスが空車にて信号のない交差点を左折したところ、横断歩道を横断中の小学生(7才)を左後輪付近で巻き込んだ。

この事故により、小学生は病院に搬送されたが、その後、死亡が確認された。

警察は、当該乗合バスの運転者を自動車運転過失傷害の疑いで逮捕し、容疑を自動車運転過失致死に切り替えて調べが進められた模様。

(4) タクシーが軽乗用車と衝突した事故

9月16日午前8時20分頃、新潟県の交差点において、タクシーが乗客1名を乗せ直進中、左から交差点に進入してきた軽乗用車と衝突した。

この事故により、乗客が病院に運ばれ、治療を受けていたが、21日に死亡した。また、軽乗用車の運転者が軽傷を負った。

事故現場は、信号機のない見通しの悪い交差点で、共に一時停止等の標識はなかった。

(5) タクシー運転者が健康起因により死亡

9月18日午前9時頃、広島県において、停車中のタクシー運転者に無線指示をしても応答がなかったため、他の運転者に状況の確認をさせたところ、当該タクシーの運転者が車内でぐったりしていたため、救急車で搬送したが、午前11時頃、搬送先の病院で死亡が確認された。

なお、点呼時、当該タクシーの運転者に異常は認められなかったが、以前から心臓疾患があった模様。

(6) トラック運転者の酒気帯び運転による追突事故1

9月13日午後8時45分頃、東京都において、トラックがタクシーに追突した。

この事故により、追突されたタクシーの運転者が軽傷を負った。

当該トラックの運転者は、駆けつけた警察官に道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。

事故当時、当該トラックの運転者は、業務終了後に一旦帰宅したが、自宅で飲酒後に営業所の車庫から当該車両を持ち出し運転していたとのこと。

(7) トラック運転者の酒気帯び運転による転落事故

9月15日午後9時40分頃、岩手県において、トラックが進行方向左側の水田に転落・転覆した。

この事故による負傷者はなし。

警察の取り調べにおいて、当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり約0.4ミリグラムのアルコールが検出された。

(8) トラック運転者の酒気帯び運転による追突事故2

9月20日午前9時10分頃、大阪府において、トラックが信号待ちで停車中のワンボックスカーに追突し、そのはずみで当該ワンボックスカーが信号柱に衝突後横転した。

この事故により、ワンボックスカーに乗車していた2名が軽傷を負った。

事故後、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、規定以上のアルコールが検知されたため、当該トラックの運転者は、自動車運転過失傷害及び道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。

当該トラックの運転者は、「昨夜、家で飲んだ。」と供述している模様。

(9) 大型トラックと乗用車が衝突した事故

9月21日午前3時15分頃、長野県において、大型トラックが走行中、対向してきた乗用車と正面衝突した。

この事故により、乗用車の運転者と助手席の乗員が病院に運ばれたが、全身を強く打って死亡した。当該大型トラックの運転者は、足に軽傷を負った。

現場は、見通しの良い片側一車線の道路で、大型トラックから見て緩やかな右カーブとなっていた。

事故は、乗用車がセンターラインを越えて対向車線側にはみ出してきたことにより生じた模様。

【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車交通局安全政策課

*このメルマガについてのご意見は、<jiko-antai@mlit.go.jp>までお寄せください。

よくある質問（配信登録の解除方法等）

(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html>)

自動車交通局ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html>)